2021年
5
月号

京都市保育園保護者会連合協議会
市保連ニュース

発行　京都市保育園保護者会連合協議会
604-8854　京都府京都市中京区壬生仙念町 30-2
ラボール京都（京都労働者総合会館）5 階
TEL.075-801-8810 / FAX.075-822-6220
E-mail: info@shihoren.net / http://www.shihoren.net
京都市保育園保護者会連合協議会

保護者と京都市との懇談会を開催しました

年度末も差し迫った 2021 年 3 月 30 日（火）、例年開催している京都市保育園保護者会連合協議会（市保連）と京都市（子ども若者はぐくみ局幼保総合支援室）との懇談を今年も開催しました。コロナ禍ということもあり、昨年に引き続き開催が危ぶまれましたが、毎年積み重ねている実績を大事にしたいという保護者の思いと、京都市の協力のもと、無事に開催することができました。

当日は、市保連の事務局以外に、5 名の保護者が参加され、保育や子育てをめぐる切実な実態と思いを直接京都市にお伝えいただきました。京都市側からは、幼保総合支援室の課長・係長の計 5 名が出席されました。

保護者の声を京都市へ

冒頭、市保連の田中智子会長があいさつを述べ、コロナ禍で子育て世帯も様々なしんどさを経験したこと、そのような中で「持続可能な行財政審議会」での保育条件の切り下げや公立保育所の民営化などの策が出されることに不安を抱いていることなどを伝えました。

これに対し京都市側からは、コロナ禍での仕事の調整や保育園への登園自粛の協力へのお礼が述べられ、市の財政が厳しい状況下で、待機児童対策や病児・病後児保育事業の新規開設などの努力をしていること、財政再建団体になることを回避するために今後の予算を考えていきたいといったことが説明されました。



田中智子・市保連会長の冒頭あいさつ

要望書への回答は…

その後、市保連が 1 月に京都市に提出した「京都市の保育施策の拡充を求める要望書」（要望書については、『市保連ニュース』2021 年 1 月号を参照してください http://www.shihoren.net/?p=1741）を踏まえて、今回の懇談に際して、特に重点項目として挙げていた、保育料の軽減、保育士の処遇改善、配慮の必要な子どもへの対応充実、公立保育所の民営化について、京都市から説明を受けました。

京都市の回答は、いずれについても、財政状況が厳しい中、現在以上の公費の拡充は困難であり、国基準を上回る保育士配置や保育料のきょうだい減免などについては今後見直しも検討しているという内容でした。



コロナ禍のなか、少人数で開催

保護者の意見・質問・要望から

懇談会では、当日参加された保護者の方々より、実際の困りごとに基づいて以下のような意見や質問・要望等が出されました。

外国人保護者が直面する課題から

外国にルーツをもつ子どもの保護者からは、外国出身の保護者の多くにとって、保育園から配られる文書の情報が理解できないこと、一方が外国人でもう一方が日本人の保護者という場合は、日本人の保護者にすべてを伝えるため、外国人保護者は一人の親としてみなされず疎外感を覚えること、場合によっては子どもが通訳者となったり、他の保護者に仲介を頼んだりするため、子どもの時間が奪われたり、本来ならば子どもや他の保護者が知ることのない情報まで伝わってしまうことなど、日本語に精通していない外国出身の保護者が保育園で直面する問題が伝えられました。

京都市からも、参考になる意見であり、通訳・翻訳にかかる機器への国の補助金を各園で活用するなど、検討を進めていきたいとの回答がありました。

保護者の負担

コロナ禍での登園自粛中も、実費負担を求められるという問題や、新年度移行期間に家庭保育の協力依頼が保護者の負担となっている問題などが質問されました。京都市からは、いずれの問題においても、保育園と保護者の間で話し合って解決を図ってほしいという回答が示されました。

市営保育所の保護者から

0、2、4、5 歳児の新年度の入所受入拒否が続いている、中京区の市営保育所である聚楽保育所の保護者からは、今後の見通しが持てないことや、京都市から十分な説明が無いことについて、不安や不信感が訴えられましたが、京都市からは「今後も子育て環境日本一を目指して努力したい」ということが述べられるにとどまりました。

配慮が必要な子どもの保育

配慮の必要な子どもに関わる仕事をしている保護者からは、子どもの障害を理由に保育を必要とする場合、一般的な就労よりもポイントが低くなってしまうため、利用調整で不利になるという問題や、医療的なケアが必要な子どもの通園先の選択肢を広げてほしいという要望が伝えられました。

これに対し京都市からは、ポイント制については、どのような状況を優先させるのかということを毎年考えて見直しを続けている（今年 4 月には多胎児、保育士、きょうだい児の加算などを見直した）こと、医療的ケアについては、保護者の要望を聞きながら、保育施設とも調整していることが説明されました。

保育士として

保育士として働く保護者からは、コロナ禍で自分の子どもを感染させるリスクを感じながらも保育園を開園するために働き続けたのに、今後保育士の処遇が切り下げられれば、やりがいを失ったり生活維持が困難になったりするため、保育士への成り手がいなくなるという心配が伝えられました。

京都市からは、現在、国の基準を上回る保育士配置や賃金水準であり、将来的にどのように保育を持続させていくかという点から検証が必要であると述べられました。



今回の懇談を通して、改めて子どもたちの保育環境をよくするためには、京都市へ（さらにそれを通じて国にも）働きかけることの重要性を再確認しました。

様々な問題を保育園と保護者との間で解決しなければならないとするなら、両者の間で対立的な関係が生じたり、孤立する子どもたち・保護者を生み出したりすることが懸念されます。市保連では、保育園と保護者が両輪となって、子どもたちの育つ環境を向上していけるように今後も様々な取り組みをしていきたいと思います。

懇談会に参加された保護者の方に、当日の感想を寄せていただきました。

京都市との懇談会に参加させていただきました。市保連から出された要望・意見や、参加した保護者からの質問や要望に対し、京都市が回答・見解を述べるという形で進められました。

全体としては、市の説明不足で、誠意が見えにくいと感じてしまいました。市民新聞でも財政難を取り上げていますが、長い目で見れば、子どもの育ちを守ることは返ってくるものが大きいはずです。子育て行政を守るために市が何をするのかが見えてこず、聚楽保育所の民間移管については、さらに切り捨てようとしているようにも見えてしまいました。

外国人保護者の困難さについては、今回それを具体的に知ることができ、周囲にいる私たちが保育所に働きかけることも出来るのではないかと思いました。

意見があっても、それを発しなければ、結局無いことと一緒にされてしまうと感じています。このような場に参加して意見できることは貴重な機会となりました。　　（朱七保育所保護者　細井由里加）

保育園＆保護者 数珠つなぎ

市保連に加盟いただいている保護者会の様々な活動をご紹介し、好評をいただいている「保育園数珠つなぎ」を、今号から「保育園＆保護者 数珠つなぎ」にリニューアルしました。これまでどおり、保育園や保護者会活動の紹介を行うとともに、仕事や生活と子育てを両立させる保護者の苦労や本音もつないでいきたいと思います。

第１回目となる今回は、保育士でもある保護者の方に登場していただきます。

家では保育士・・・通用しません！　西井 志織（朱い実保育園保護者）

昨年 7 月、我が家にも 2 人目の女の子が誕生しました。上のお姉ちゃんとは５歳差。私も２人子育ての仲間入りかぁ～と出産を乗り越えて、やりきった気分に浸っていたのも束の間、待ったなしの２人子育てが始まりました！

まず悩んだのがお風呂問題。そういえばお風呂って大人１人の時は子ども２人をどうやって入れるの？！（しかも１人は赤ちゃん…）と、産んでからあたふた。もっとちゃんとイメージしたり周りに聞いておけばよかった…。下の子が寝ている間に上の子だけをシャワーして、その後下の子を入れて…と２往復したり、脱衣所に下の子を寝転ばせて安否確認しながら上の子を入れてみたり…終わるころにはお互いクタクタでした。なんとかならないものかと思いながら、この話を近所のお母さんに話すと「うちに使い終わったバスチェアーがあるから、あげるよ！！」と、なんとここにきて救世主！！（その手があったか！笑）　やっぱり持つべきものは子育て仲間なんですね。

これでなんとかお風呂問題は解決。しかしこの後も、寝かしつけやら買い物やらこれまでの生活と違うことひとつひとつに「あれ！？」と思うことばかりの日々。上のお姉ちゃんも「お姉ちゃんやし」とはりきることもあれば、まだまだ甘えたい盛り。赤ちゃんの使っているものは「私の！」と全て使用中にしてみたり、「今日は寝ない！」と限界まで起き続けてみたり。家事も育児も予想外のことばかり（世の中のお母さんたちはみんなこんなことを乗り越えてきたのかと思うと本当にすごいです…）。

そして４月になり、いよいよ私も職場復帰。夫は夜勤のある仕事のため朝夕は週替わりでワンオペ育児。祖父母にも手伝いはお願いしつつ、自分たちでできるところはやってみて…のスタートでした。仕事から帰り、息つく間もなく、ご飯の用意をしているとある時、子どもからから「ね！聞いてる！？」「お母さんは、ぜんっぜん聞いてくれない！！」と一言（え・・・今話しかけてた？！とびっくり）。頭が仕事モードになったまま、子どもの話は上の空だったようです。保育園では保護者のお父さんやお母さんにあれだけ「子どもの話を聞いてあげてね」と言っていたのに。我が子にはしてあげられていない自分に葛藤し、でも一方で私もこんなにがんばってるんだけどな…とやり切れない気持ちになることもありました。

家事、育児、仕事…と、やることはたくさんあるからこそ、どこかで気を張ってしまうけれど、少しでも自分を楽に、手を抜けるところは抜いてもいいんじゃないかと思うようにもなりました。１人目のときは「ここは譲れない！！」と守ってきたことも、今となってはお昼寝もテレビもどんどん解禁されていき、最後は「みんなが元気に過ごせていればOK」が私のモットーに。

職場では保育士、でも家では私も二人子育て初心者のお母さんです。



京都市保育園保護者会連合協議会（市保連）

2021 年度総会のお知らせ

2021 年度の市保連総会を以下の通り開催します。

●日時: 6 月 13 日（日）10:00～12:00

●内容（予定):

(1) ミニ学習会「保護者として知っておきたい子どもの権利」
(2) 交流会（学習会の感想や各園の保護者会の情報交換など）
(3) 昨年度の活動報告・決算報告、および今年度の活動方針・予算、役員の承認　など

●実施方法: オンライン開催（Zoom を使用）

※ 今年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、オンラインにて総会を開催いたします。詳細は、議案書発送時にご案内させていただきます。

※ オンライン対応が難しい方はお手数ですが、事前にご相談ください。
連絡先: info@shihoren.net　または　075-801-8810

総会の議案書と出欠確認（兼・委任状）の返信用はがきを、6 月初旬に各保護者会宛に発送いたしますので、ご確認いただきますようお願いいたします。

各園の保護者会会長、市保連担当の方、保育運動担当の方はもちろん、興味関心のある保護者、未加盟の保護者会のご参加も歓迎します。
他園の保護者会活動について知ったり、保護者会活動の悩みを相談し合ったりなど情報交換や交流を行う機会となっています。
ぜひご参加くださいますよう、お願いいたします。

市保連公式 Twitter アカウントを開設しました。

～フォロー、よろしくお願いします～

市保連ではこれまで、『市保連ニュース』のほか、ホームページや Facebook、メーリングリストを通じて情報発信をしてきましたが、今回新たに、ツイッターのアカウントを開設しました。最新の情報をつぶやきます！

フォローはこちらから👉 https://twitter.com/kyotoshihoren/

市保連の Twitter アカウントは、こちら。フォロー、お願いします！

★市保連メーリングリストご登録のお願い★

京都市保育園保護者会連合協議会（市保連）では保護者・保護者会相互の交流や情報交換のため、メーリングリストを設けています。この機会にぜひご登録ください。
登録をご希望の方は、保育園名・お名前と、「メーリングリスト登録希望」と記入したメールを、info@shihoren.net（市保連事務局）宛にお送りください。

『市保連ニュース』のバックナンバーは、市保連ホームページで公開中です！